

地元の木で家を立てよう (住宅～製材見学バスツアーの開催)

イーハトーヴの森と家づくりフォーラムでは、地域材での家づくりの普及啓発活動として、年に4回程度、森林から家づくりに関する勉強会を開催しています。

去る6月22日には、今年度第2回目の勉強会として岩泉町内で建築中の住宅2棟と製材工場の見学を行ない、約30名が参加しました。

住宅は2棟とも地元の製材所で天然乾燥された木材を使用し、熟練した大工さんによる手加工が施されたもの。同フォーラム会員の空創舎が設計・施工した住宅は土台に

ヒノキ、大黒柱に16角のケヤキ、梁にはアカマツと全て無垢材が使われています。近くの山の木を大事に使うというコンセプトのもと、曲がり材もそのまま生かして加工されています。

製材工場では社長が一人で製材を行っており、量的には多くは生産できませんが、取る材料に合わせて吟味しながら製材しており、歩留まりは65%以上とのこと。小さい工場ならではのやり方で、近くの木を十分に使うことのできる事例紹介となりました。

